

SUCCES 下水道耐震 2014 指針（ボックス縦方向）メンテナンス履歴

Date	Version	修正項目
2018/06/11	10.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ねっとさーば Cloud2 版をリリースしました。 <p>不具合修正項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物件選択画面で、フォルダーツリー表示が正常に表示されない場合があったので修正しました。
2015/10/14	2.10	<p>「下水道施設耐震計算例—管路施設編—2015 年版」対応項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目地離間時の地震時引張軸力の計算に目地離間時の軸方向剛性により算出した補正係数 ξ_1 を用いることを選択可能にしました。 ・PC 鋼材の検討で有効緊張力を無視することを選択可能にしました。 ・地震時引張軸力により発生する目地開き量と地震動により地盤に生じるひずみによる継手部の拔出し量を比較し、小さい値を継手部発生目地開き量として照査することを選択可能にしました。 ・PC 鋼材の検討で許容引張力をレベル 1 地震動時は降伏点応力度、レベル 2 地震動時は引張強度とすることを選択可能にしました。 ・縦方向連結型のマンホールと矩形きよとの接続部における地震動による拔出し量を差し込み継手管きよの式で計算することを選択可能にしました。 ・通常敷設型の矩形きよと矩形きよの接続部に対する地震動による屈曲角の計算に対応しました。
2015/07/31	2.00	<p>「下水道施設耐震計算例—管路施設編—2015 年版」対応項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震時に生じるせん断ひずみの大きさを考慮した係数 α_D について、レベル 1 地震動とレベル 2 地震動で異なる値を入力可能にしました。 ・側方鉄筋を考慮することを可能にしました。 ・レベル 1 地震動の検討において、断面力低減係数算出方法が「共同溝指針（付 1-2～1-3）」の場合に、低減係数の下限値 0.1 を考慮するように変更しました。 <p>機能拡張項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場打ちボックスカルバートの断面照査において、軸方向圧縮と軸方向引張の照査を同時に行うことを可能にしました。 <p>仕様変更項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・照査結果の表記を「○・×」から「OK・NG」に変更しました。